

# 放送コンテンツの海外展開等について

---

平成31年1月30日

総務省

# 放送コンテンツの海外展開の促進

## <概要>

放送コンテンツを制作する民間事業者等と、観光業、地場産業、自治体等の関係者が幅広く協力し、インバウンド・アウトバウンドの拡大や地方創生等に資する放送コンテンツを制作、発信するとともに、これと連動するプロジェクトを一体的に展開する取組の支援等を行う。

(一社) 放送コンテンツ海外展開促進機構 (BEAJ)、関係省庁等と連携)

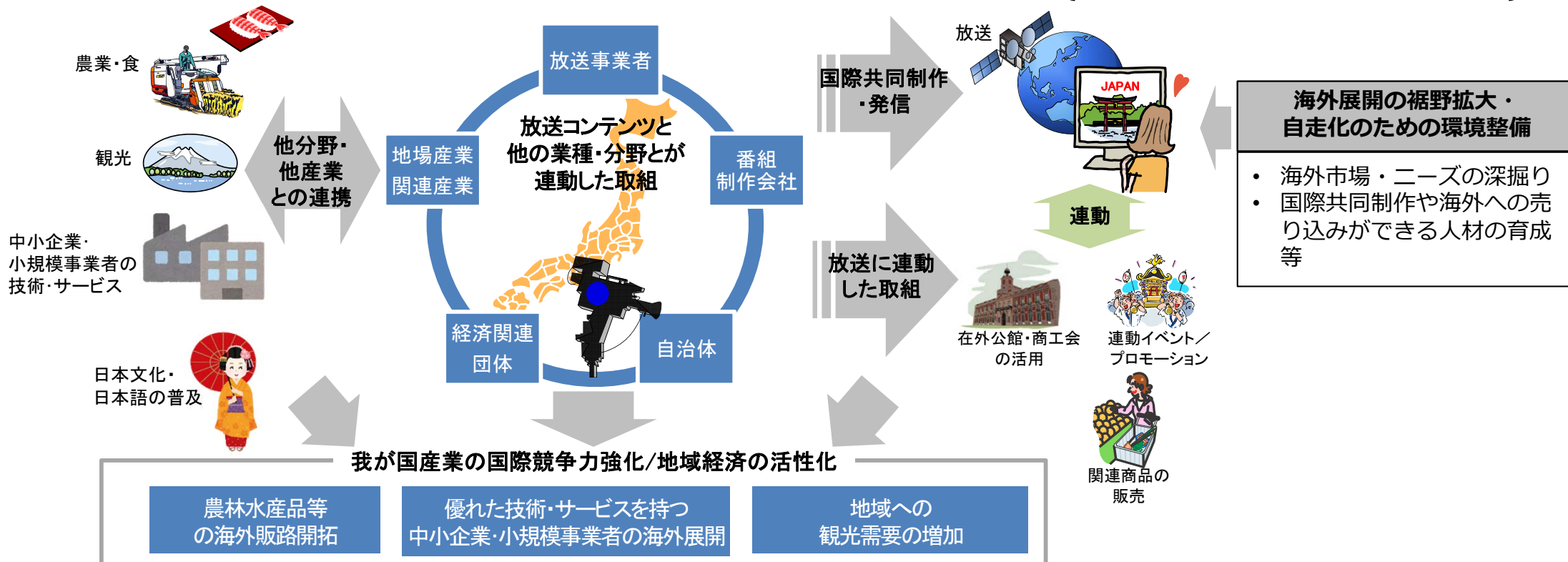
H30年度第二次補正予算案：

放送コンテンツの海外展開による我が国産業の国際競争力強化及び地域経済活性化支援事業 14.5億円

H31年度当初予算案：

放送コンテンツ海外展開強化事業 2.0億円

H29年度補正予算：12.8億円  
H30年度当初予算：3.5億円



## 地域産品の販路拡大

### ●It's Showtime(フジテレビ)

フィリピンの地上波ABS-CBNにおいて、日本の各地域への観光や、地域産品の魅力を紹介する番組を放送。  
(2015年度支援事業)

番組と連動して、中国・四国地方の企業とフィリピンの企業のマッチングイベントを実施。



番組で紹介した広島県熊野町の化粧筆が現地卸先と契約。

## 自治体との連携

### ●日本信州高山村—台日藝術交流之旅 (Goolight(旧:須高ケーブルテレビ))

台湾の地上波FTVにおいて、長野県の北信濃を舞台として、信州が誇るワイン等を発信する番組を放送。  
(2017年度支援事業)



4つの地元自治体からスポンサーシップを獲得

### ●Make Awake "Travel Story"(長崎国際テレビ)

タイの地上波WorkPointTVの人気番組の長崎編を制作。



タイ人の女性タレントが美しい島々を巡るドキュメンタリー番組により、「離島創生」をはかった。(2017年度支援事業)

5つの地元自治体からスポンサーシップを獲得

## 海外の放送局との関係構築、ノウハウ活用

### ●昇龍道の旅(CBCテレビ)

香港の地上波Viu TVにおいて、中部北陸地域の広域観光周遊ルートである「昇龍道」を紹介する番組を放送。  
(2016年度支援事業)



両社の自走した取組として、Viu TVの職業体験番組「開工(Good Job)」に、CBCテレビがアレンジを加え、「Good Job in Japan」※を制作し、日・香港の双方で放送。(2018年)

※日・香港のナビゲータが新幹線での清掃や旅館でのおもてなしなど、日本ならではの仕事を体験する番組

### ●行先は天国？地獄？ミャンマー人の「カンペ旅」 (静岡朝日テレビ)

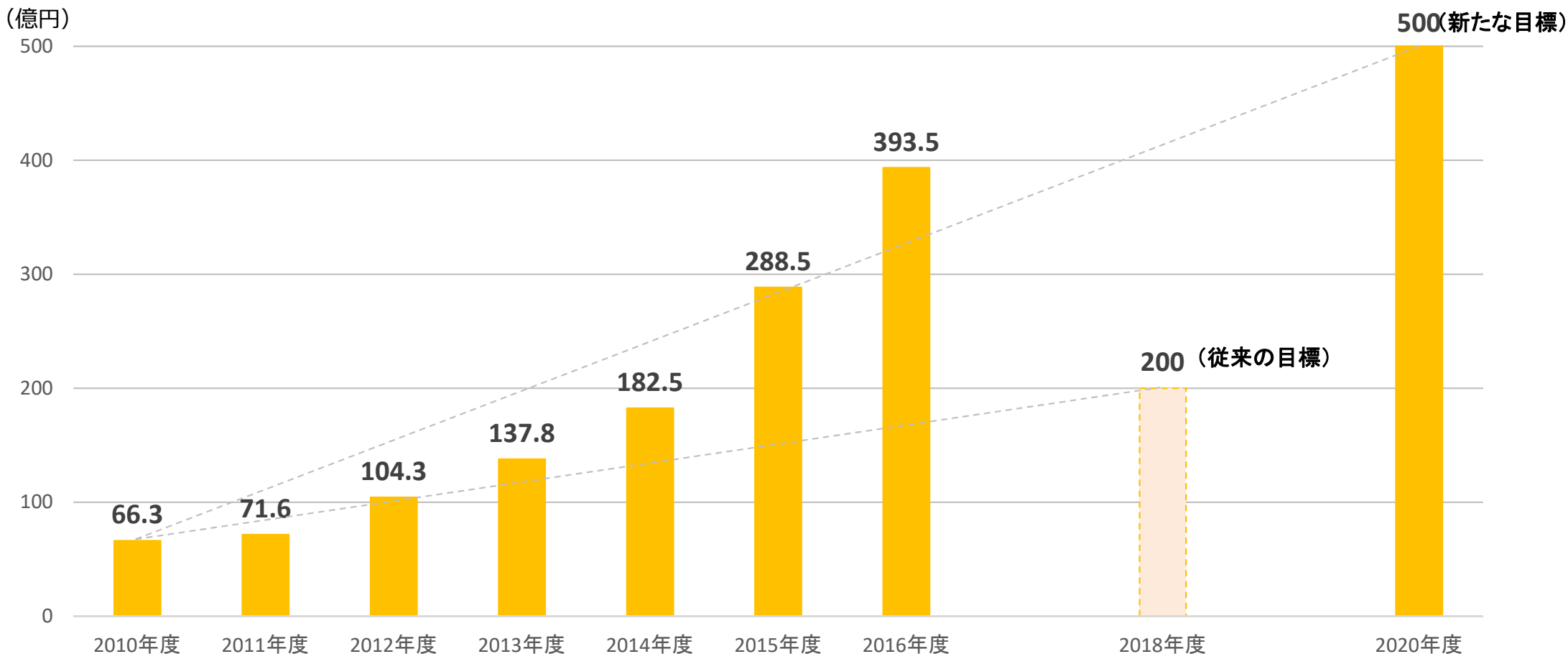
ミャンマーにおいて、静岡、長野、福島  
の3県を巡る旅番組を放送。  
(2017年度支援事業)



ミャンマーで新工場を稼働させたスズキから、大型のスポンサーシップを獲得。

※ 2018年度支援事業として事業実施中

- 日本の放送コンテンツ海外輸出額は、2010年度以降、毎年増加を続け、2016年度末で393.5億円。  
(対前年度比36.4%増)
- 放送コンテンツの海外展開については、従来の目標として、「2018年度までに放送コンテンツ関連海外市場売上高を現在(2010年度)の約3倍(※約200億円)に増加」としていたが、3年前倒しで達成。
- これを受け、新たな目標として、「2020年度までに放送コンテンツ関連海外売上高を500億円に増加」とするもの。



注: NHK、民放キー局、民放在阪準キー局、ローカル局、衛星放送事業者、プロダクション等へのアンケートにより算出

## 国際番組見本市への出展支援

- 総務省は、世界各地で開催される国際番組見本市への出展支援等を通じて、ローカル局等による海外バイヤーとの接点構築をサポート。2018年度の実績は以下のとおり。

見本市	開催時期・場所	総務省の取組概要
MIPCOM	2018年10月15日～18日 於：カンヌ 世界最大級のコンテンツ見本市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民放連及び放送コンテンツ海外展開促進機構（BEAJ）とともにパビリオンを運営。ローカル局3社、広告代理店1社、BEAJが出展。</li> <li>・BEAJとの共催で、海外バイヤーに向けて日本のリメイクドラマをPRするスクリーニングイベントを開催。</li> </ul>
ATF	2018年12月4日～7日 於：シンガポール アジア最大級のテレビ番組見本市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民放連及びBEAJとともにパビリオンへの出展を支援。キー局やローカル局、CATV事業者等（36団体・事業者）が出展。</li> <li>・①ローカル局等を対象とした海外有力バイヤーによる番販実務に関するセミナー、②海外バイヤーとのネットワーキング・ランチイベント、③番組ジャンルや海外展開先に応じた個別の商談会を開催。</li> </ul>
NATPE	2019年1月22日～24日 於：マイアミ 毎年アメリカにおいて開催されるコンテンツ国際見本市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キー局及び準キー局6社（日本テレビ放送網、テレビ朝日、テレビ東京、関西テレビ、ABCテレビ、CBCテレビ）のブース出展を支援。</li> <li>・北南米の有力バイヤーと日本の放送事業者とのネットワーキングイベントを開催。</li> </ul>
香港 フィルマート	2019年3月18日～21日 於：香港 アジア最大級のコンテンツ見本市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民放連及びBEAJとともにパビリオンを運営。ローカル局を中心とする放送局等の21団体・事業者が出展予定。</li> <li>・BEAJとともに、日本の放送事業者及び映像制作会社を対象とした海外バイヤーとのマッチング支援イベントを開催予定。</li> </ul>

# インターネットを活用した 放送コンテンツの提供の検討について

---

**視聴環境の変化**

- スマートフォン・タブレットの普及、テレビの高機能化（ネット接続・高精細）など、視聴デバイスが多様化
- OTT事業者（Hulu,Netflix,Amazon,DAZN等）の動画配信市場への参入拡大（国内動画配信市場 2015年：1,531億円 → 2020年：2,048億円）

**諸外国の動向**

- 米国、欧州では、見逃し配信と組み合わせて展開。多チャンネルサービスも出現（YouTubeTV(米)、TVplayer(英)）
- 新たな広告需要獲得のため、視聴データを活用したアドレスラブル広告を行う取組が進められている

**2020年代に向けて、放送コンテンツが円滑に流通していくための環境整備が必要**

**放送コンテンツの流通を支える配信システム及びネットワークに関する検討**

**モバイル同時配信**

- 実証事業などを通じて、ネット同時配信を行うために必要な配信システム機能の共通化の検討を進め、ローカル局を含めた多くの放送事業者がネット同時配信を継続的に実施しやすい環境を整備
- トラフィックが急増した場合の対応について、放送事業者と通信事業者などのステークホルダー間の連携体制構築を支援

**テレビ向け4K同時配信**

- 規格・推進団体が中心となり、必要な技術仕様の策定、人材育成支援等を行えるよう支援
- ユニキャストやマルチキャストなど異なる方式で4K映像を安定的かつ効率的に配信できる方策の検討を促進

**視聴データ利活用**

- 視聴データを地域経済や地域社会に利用・還元できる仕組みや複数の放送事業者が視聴データを円滑に共有するためのルール作り、視聴者の安全安心を確保するためのルール作りを支援

**放送コンテンツの適正かつ円滑な製作・流通の確保に関する検討**

**同時配信の権利処理**

- 権利者団体は、商業用レコードのアウトサイダーへの対応策として、文化庁の実証事業を活用しながら、権利情報の集約化及び委任範囲の拡大に取り組む
- 放送事業者及び権利者団体等における取組状況を踏まえ、継続的な検討に向けた体制を整備

**放送コンテンツの製作取引**

- ガイドラインの周知・啓発の徹底、取引実態の調査の実施、ガイドラインの見直し、外部有識者から構成される新たな推進体制の整備、民間主体の推進協議会における自己点検の実施を行う



情報通信審議会(放送コンテンツの製作・流通の促進等に関する検討委員会)や規制改革推進会議等における議論を踏まえ、在京民放5局等による見逃し配信用共通プラットフォーム「TVer」を用いた放送コンテンツのインターネット同時配信実証を推進。

## 【放送局】



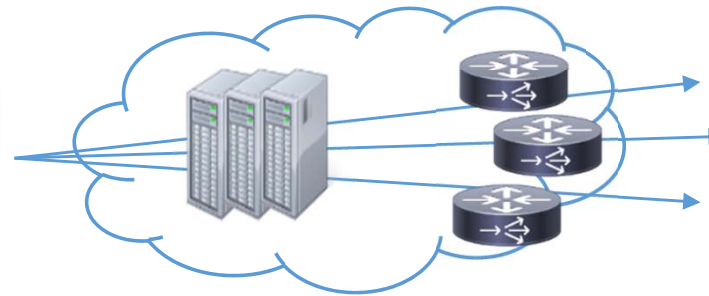
## 【共通プラットフォーム(TVer)】



ダウンロード数：1,500万(2018年10月)  
 月間アクティブユーザー：697万(2018年10月-12月の平均)  
 月間動画再生数：5,452万(2018年10月-12月の平均)

## 【CDN※・携帯電話網など】

※Content Delivery Network



## 【スマートフォン等】



### ①サッカーW杯ロシア大会の配信実証実験(2018/6/15~7/14)

<実施主体>  
 日本テレビ、テレビ朝日、TBSテレビ、テレビ東京、フジテレビ  
 電通、電通国際情報サービス、プレゼントキャスト、メディア開発綜研

<配信コンテンツ>  
 ・サッカーW杯ロシア大会 民放配信全32試合

<実証内容>  
 ・大規模アクセス下での通信システム・サービスに与える影響の検証  
 ・アクセス数、トラフィックの計測 等

<視聴数(ユニークユーザー数)>  
 ・日本×セネガル戦：22万(最大同時接続数：13万)  
 ・日本×ポーランド戦：36万(最大同時接続数：18万)

### ②各局スポーツ番組等の配信実証実験(2018/9/29~2019/2/1)

<実施主体>  
 日本テレビ、テレビ朝日、TBSテレビ、テレビ東京、フジテレビ、関西テレビ  
 電通、野村総合研究所、HAROiD、ビデオリサーチ、プレゼントキャスト、  
 NRIデジタル

<配信コンテンツ>  
 ・日本テレビ「レスリング全日本選手権」 12/23  
 ・テレビ朝日「女子サッカーなでしこジャパン国際親善試合」 11/11  
 ・TBSテレビ「2018世界バレー女子大会」 9/29~10/20  
 ・テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」「青春高校3年C組」  
 2019/1/21~2/1  
 ・フジテレビ「みんなのKEIBA」(関西テレビ「競馬BEAT」) 11/25、12/23

<実証内容>  
 ・「CM差し替え」、「災害情報配信」、「字幕表示」等の方法の検証  
 ・トラフィック急増に対する対応等の検証 等



# 次世代映像配信技術に関する実証

## 災害情報の迅速・円滑な提供のための共通的配信基盤の整備に関する実証

[H30補正 9.9億円の内数、H31当初 1.2億円の内数]

### 趣旨・目的

- 災害情報を含む放送コンテンツの安定的・効率的なインターネット（同時）配信を早期に実現する。

### 事業内容

- 各放送局が、災害情報を含む放送コンテンツを、インターネットで迅速・安定的・効率的に提供できる共通的配信基盤の整備に向けた実証（含トラフィック急増時の運用の在り方の検証）を実施。  
→ 地域の観光の活性化等に資するローカルコンテンツのインターネット同時配信等の取組を促進。

<放送コンテンツ(含災害情報)>

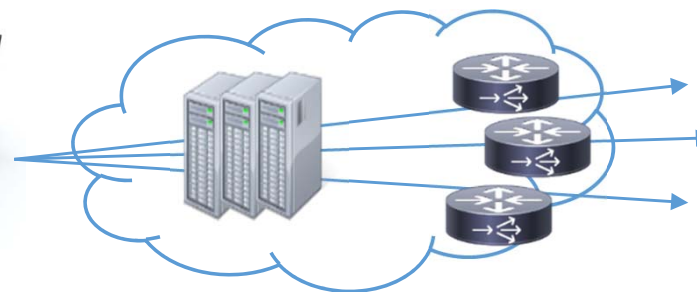


【共通的配信基盤】



【CDN※、携帯電話網等】

※ Content Delivery Network



【スマートフォン等】



## 設立目的

- 放送番組のネット配信が本格化した場合におけるネットワーク運用等の技術的課題など、「放送」と「通信」にまたがる課題への対処が必要。
- 関連する取組も踏まえ、放送、通信インフラ、クラウド等の関係者間の連携を密にする観点からの情報共有の必要性が増大。

## 位置づけ

- 放送番組のネット配信に関する課題を検討・意見交換するための関係者による任意団体。

## 体制

- 総会、幹事会の下に、検討テーマに応じてワーキング・グループを複数設置。（当面は以下2つのWGを設置）
  - ① 技術WG： ネット配信の配信基盤に関連する技術的課題を検討。
  - ② サービスWG： ネット配信に関連するサービス面の課題を検討。

## スケジュール

- 10月17日(水) 設立総会
- 11月 第1回技術WG
- 12月 第1回サービスWG  
第2回技術WG・サービスWG（合同）

### [体制図]



※五十音順、敬称略

## 会長

慶応義塾大学環境情報学部教授 村井 純

## 副会長

青山学院大学大学院総合文化政策学研究科教授 内山 隆(サービスWG主査)

東京藝術大学客員教授 谷川 史郎

東京大学大学院工学系研究科教授 森川 博之(技術WG主査)

## 参加事業者

(株)インターネットイニシアティブ、KDDI(株)、(株)ジュピターテレコム、スカパーJSAT(株)、ソフトバンク(株)、(株)TBSテレビ、(株)テレビ朝日、(株)テレビ東京、(株)電通、東海テレビ放送(株)、日本テレビ放送網(株)、日本電信電話(株)、日本放送協会、(株)博報堂DYメディアパートナーズ、(株)フジテレビジョン、読賣テレビ放送(株)、(株)WOWOW

## 参加団体

(一社)衛星放送協会、(一社)テレコムサービス協会、(一社)電気通信事業者協会、(一社)日本インターネットプロバイダー協会、(一社)日本ケーブルテレビ連盟、(一社)日本民間放送連盟

## オブザーバ

総務省